

# ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしょう。」)

# N. d'amoshifan

発行 有会社社ナツプ  
 編集責任 中田 等  
 発行日 令和元年 九月  
 問合せ先 〇九八五五一七四〇九

## チヨースターのよくある話

### 輸送のトラブル

昔からあった通販に加え、メルカリなどによる、個人売買による荷物の増加と、配送スタッフ不足は、何かしらのメディア等でご存じの事だと思います。

それが直接的な理由?にはならないと思うのですが、先日私が担当した商品出荷物が、複数の破損・届け先からのクレーム、がありました。

例年お付き合いをいただいているクライアント様で、利用先に直送出荷して納品していただのですが、本場に初めて

## トイストーリー4を見て



トイストーリー4を見てきました! 正直、トイストーリーを見る予定ではなかったのですが、見る予定の映画が満席状態だったので、しょうがなくみたくて...。結果... 不覚にも泣いてしまいました(笑) トイ・ストーリーだけはいつまでも自分の心に子供の頃の純真さを呼び起こしてくれます。子供の頃と同じようにウッディやバズの言葉に耳をかたむけ、その一挙一動を息をのんで見守り、最後に

のこ。寝耳に水! これまでになかった破損でした。

① これまで以上に、商品自体をしっかりと頑丈に梱包すること

② 発送箱の中で、包んだ品が動かない様に、固定またはしっかりと詰め物をする

③ 天地無用や、ワレモノ表

は嬉しさと感動で泣いてしまう。今やテレビゲームが当たり前ですが、私が子供のころはまだおもちゃで遊ぶのが当たり前だったので、共感できる歳ですね。トイストーリーは人間がいなくなると、当たり前のようにならなくなるし、動きまわす。個々の感情もあって人間模様ばかりおもちゃ模様がない。笑いあり感動ありのいい映画ですね。優越感や劣等感や絶望感があるなんて、ほんと人間臭くていい。皆さんが見て泣くのは、きっと登場してくるおもちゃと自分を照らし合わ



衝撃で商品に入ったシワ

せて、同じような気持ちになるからだと思います。

今回のトイストーリーはラストびっくりする展開になります。その結末は、あなたの想像を超える!是非ご覧ください! 吹き替えが面白い! チョコプラが声優してるキャラがいい味だしてますよ!



(光)

## ラン子野郎

### 見参!

「カルビラーメンってなに?」の巻

妻が友人との会話で鹿屋方面に行った時に何を食べるかという話になって、妻は「とんかつの竹亭」に行くと言ったところ、友人は、「炭火焼肉カルビ」のカルビラーメンを食べると言っていたので行ってみることにしました。



11時30分に早速入店です。数組のお客さんと店内に入り、妻がカルビラーメン、私はビビン麺を注文しました。プラズ百円でご飯が注文出来ます。しばらく待っていると最初にカクテキが出てきました。その間に自分の注文したビビン麺が来たので待ちきれずに食べていると、いよいよカルビラーメンの登場です。自分の食べたビビン麺も美味しかったですが、お勧めのカルビラーメンはビジュアルからして旨そうです!



す! ビビン麺をご飯を食べたのでお腹いっぱい食べてみせんでしたが、見ているだけでも旨いだろうと想像できません。食べ終わった後に支払うに行くとき外で順番を待っている人もいました。



九州では、南阿蘇村の葉祥明阿蘇高原絵本美術館がブルービーを見る事が出来る場所です。有名ですが、ダマスクの風でも見る事が出来ます。美味しものを食べて幸せを感じた後は、幸せを運ぶブルービーを見つけてはいいかがでしょうか? 11月初旬くらいまでは見ることが出来るそうです。ダマスクの風では、ミックス生ハーブティーと菓子工房ボンヴィヴォンが作ったローズマカロンはお勧めです。(大)



### 息子の結婚

まだまだ、ずっと先のこと  
 と思っていた息子の結婚。彼女が出来たと聞いてからプロポーズしたとの報告までの早かったこと…。慶事だから嬉しいはずなのにちっとも心が弾まない。顔合わせ、結婚の日程を決めて、弾まない私の心と裏腹に息子は嬉々として準備を進めていく。あーこれが娘の結婚なら、きっと私はいそいそと準備をするだろうな〜と思う…。何が違う？私には弟が1人、妹が2人いるが、実家に良く集まるのは私と妹家族。お正月、冬休み、夏休み、お盆；それぞれ夫の実家は足が遠のく。だから弟のお嫁さんにも無理は言わず、彼女の実家の帰すようにしてきた。あーそうだ。息子は私のところではなくお嫁さんの実家の方が近しくなる。それが判るから寂しいのだ。気分が乗らないのだ。思い起こせば27年前彼は生まれました。朝一で病院に行くも「まだですね〜」と言われ午前中は仕事をしながら階段の上り下り…。お昼に病院に行き昼食を食べベッドに横になっていると陣痛？ いやいや…上の子は陣痛に耐えること二日間、三日目にやっと出できたから、きっとまたまたと多可をへんくっていたら痛みが限界に。分娩台でいきいきと回

ブルンとあつという間にご対面(笑)。検診の時、先生から「女の子さんですね」と言われていたのに。看護士さんが「元気な男の子ですよ〜?」嬉しい誤算でした。フルタイム以上に仕事をしながらの子育ては目が廻りそうなる忙しさ。すぐに保育園に入園「はいはいをしました」「つかまり立ちをしました」「歯が生えました」

彼の成長は保育園の先生からのお帳面での報告で知ることが多かった。小学校・中学校・高校・大学とあつという間の27年間。まだまだ私の息子でいると思っていたけれど、いや息子には違いないけれど彼の結婚は私の心にチクリと小さな刺をさした。色んな思いが心の中で交錯し、子育てに後悔もするけど、書いていくうちに何だか暖かな気持ちに満ちてきた。母は母なりに精一杯の愛情を注いで育ててきたから後悔するのはやめよう。結婚式までの時間を楽しく笑って過ごしていこう。うん、そうしよう。そしてその日・笑顔で心から言おう「結婚おめでとう」と。(直)



### いんちきクライマーが行く! 「大隅半島の主峰 大篋柄岳 その2」編

急坂を下りきつたら、そこが妻岳分岐とよばれるコルです。ここからまっすぐ進み20分ほど登り返すと妻岳。右へまいて進むと大篋柄岳です。朝食がまだだったので、ここでアンパンとコーヒード朝食をとりました。うーん、うまし。繰り返すけど、うまし。山で食べるアンパンは地上最強でござす。

そしてまた歩きはじめます。うっそうとした緑の木々の回廊をアップダウンを繰り返しつつ、高度を上げて進んでいきます。50分ほど歩くと、スマン峠へ到着。



こは、峠とはいえ眺望なし。あいかわらずの緑の中。このネーミング、由来が知りたい。スマン?これはスミとか端っことかいうことらしいです。スマン峠を過ぎると斜度が増し、またまた息がハーパーとあがってきます。スズタケも生い茂り、きれいに刈っていただいているとはいえ、バシバシと顔を打ちます。木々の隙間から、目的の山頂が見えてからは、元気をとりもど

して、スピードアップ。そしてようやく山頂です。御岳から1時間40分のペースで歩けました。



山頂は南と西に開けており、桜島がより大きく目の前に見えます。思わず手を合わせてしまいます。高隅山系の山々が一望でき、未踏の山々が手招きしていました。とりあえず今日は、この山域の盟主の頂に立てたことで、充分満足です。

安心感からか、さすがに足腰が重くなってきました。お昼にはまだ早い時間なので御岳までもどってお昼をとることにしました。来た道を帰るので、復路はそれほど長くは感じないと思っただけですがスマン峠をこえたあたりから脚に異変が。ふくらはぎに溜まった乳酸のせいかな、痛みがあらわれはじめます。まあよくあることなので、少し歩幅を小さくして、歩くことにします。もうすぐ妻岳分岐というところで、ついに太ももへと痛みが上ってきて、足が上がらなくなりました。(賢)

御岳までの2000mの登り返しを思うと、なんともブルーになってきます。その場にひっくり返って、足を高くあげてゲンコツでコンコンと叩きマツサージ。多めに水分を補給して柿の種をポリポリ食べて塩分も補給。痛みが引かないまま御岳山頂への登り返しとなりました。あーしんどかったねえ。久しぶりに怖い顔して登りました。



山頂で、やれやれと腰を降ろして、歩いた稜線をしみじみ目で追いつながら、カップヌードルトマトに白おむすびをぶちこんで、リゾット風にして食べます。以外にイケます。でも見た目はアウト…。食後はコーヒーを淹れて、チョコレートをはおばります。ああ幸せだあ。いたって幸せなのだ。山を下りれば、また現実だらけ。めんどくさい事や、かけひきやらで、僕のガラスのハートはいつも砕ける寸前(笑)なのだけど、今この時の幸せはかけがえのないもの。自分の意志と、自分を置いてこの高みに、自分を置いているのだから、これはやっぱり幸福なのです。ありがとさげます。ます。(賢)

### 編集後記

八月のセミの声と焼けつく暑さ。お盆、墓参り、戦争の記憶…。令和となっても八月はやはり特別な月ですね。病氣や事故、災害、戦争・紛争等、想い半ばで逝かねばならなかった数えきれない無念に、思いを馳せる機会が多くなるのが八月です。世の中のスピードに流される自分を自覚しながらも、本当に大切なものを見失わないようにするのは困難な時代。「隣人を愛せよ」「人類皆兄弟」とまではいかなくても、そっと手を合わせてみる。思い出してあげる。そうやって自分の中にある優しさを見つめるだけでも、視界が少しはクリアになるのでは。裸で生まれてきて沢山の縁と絆の中でいっぱしの人間に成長し、最後は公平に土に戻ると思えば、知らず感謝の念が湧いてきますね。「皆ニテクノボウト呼バレ 褒メラレモセス 苦ニモサレズ サウイフモノニ私ハナリタイ(宮沢賢治)」。私にとつての八月はそんな気持ちになります。(賢)